

相談室便り

スクールカウンセラー 達富郁夫

〈心のコロナウイルス対策①〉

学校が再開して一か月余りが経ちました。ストレスが解消した人、逆にストレスが溜まっている人、いろいろな人がいるかと思います。

私自身がいろいろな学校に行かせて頂いている中で、子どもの方からこのような相談がありました。

「コロナの影響で、それまでは出来ていたことが学校で出来なくなった…」

見た目はそれまでの学校と同じかもしれませんが、実は世界が変わってしまったんだと私も実感した言葉でした。

そうした気が付かない、見えないストレスが溜まっていたり、感じたりしている人が増えてきています。

どうしたら良いかということは、実はまだ答えが見つかっていません。ここから先、全ての人が共に悩みを打ち明け、その悩みを共有し、そして共に考えるといったことがこの先必要になってきます。

答えはその人の中にあるのだということ。そのためには、お互いが意見を話し、聞ける関係性がますます重要になってくるのだと思います。

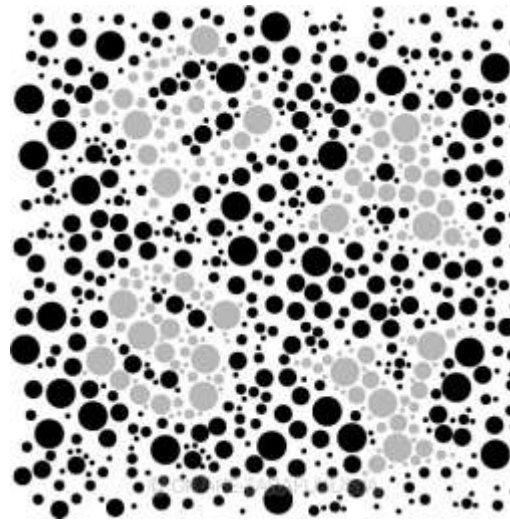
何が見えるかな？

- 右の絵の中に何か言葉がかくれています。さて、何という言葉が隠れているのでしょうか？
- 簡単ですよ？！



〈前回の解答〉

前回の絵の中には、皆さん大好きなお礼の3人。福沢諭吉、野口英世、樋口一葉が隠れていました。わかったかな？！



子どもは勝手に育つ？！

保護者からの相談を受けていますと、よく「ウチの子の将来は大丈夫でしょうか？」といった子どもの将来を不安に思われている保護者の不安をよく耳にします。我が子の事ですから不安に思うのは当然ですが、よく忘れられていることがあります。それは、例え幼かったり若かったとしても子どもも一人の人間だということです。

確かに子どもは大人と比べて知識や経験が乏しく、正しい判断が難しいところもあるかと思いますが。かといって何でも教えていったり強要してしまえば、子ども自身の成長の機会を奪ってしまうことにほかなりません。そして何よりも、その子はその子なりに少ない知識や経験を生かして『自分なりの答え』を出してきます。そんなとき、子どもが導き出した答えに対する正誤に目を向けるのではなく、答えを出そうとしたその行動に目を向けるべきだと思います。そういった視点で子どもをみることが出来た時に『子どもなりに成長しているんだ』といった部分が見えてくるかと思えます。

そして、どんな考え方を導き出してくるとしても、子ども自身も一人の人間として『自分なりに考えて答えを導き出しているのだ』ということをお忘れにはならないかと思えます。自分の子どもであっても、どんなに幼くても、一人の人間として尊重し、何かを教えたりしていくのはその後なのだという想いを持って子どもたちと接していく必要があるのではないのでしょうか？

8～9月の来校予定日

【吉舎中】

8月21日（金曜日） 10時10分～16時55分

8月28日（金曜日） 10時10分～16時55分

【吉舎小】

7月16日（木曜日） 9時50分～12時50分

9月 2日（水曜日） 9時50分～12時50分

9月23日（水曜日） 9時50分～12時50分

【八幡小】※1学期中は終了しています。

9月16日（水曜日） 9時15分～12時15分

※ 相談には予約が必要です。相談のご希望がありましたら、各学校までご連絡の上、予約して頂きますよう、よろしくお願い致します。

(吉舎中学校；0824-43-2115)(吉舎小学校；0824-43-2580)

(八幡小学校；0824-43-2026)

